

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分とB区分の両方
------	------------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいしゃげきだんげいゆうざ		団体ウェブサイトURL
	株式会社 劇団芸優座		https://www.geiyuza.com
代表者職・氏名	代表取締役 平塚 仁郎		
制作団体所在地	〒 182-0025	最寄り駅(バス停)	京王線京王多摩川駅
	東京都調布市多摩川2-28-4		
電話番号	042-489-4555(代)		
ふりがな 公演団体名	げきだんげいゆうざ		団体ウェブサイトURL
	劇団芸優座		
代表者職・氏名	代表取締役 平塚 仁郎		
公演団体所在地	〒 182-0025	最寄り駅(バス停)	京王線京王多摩川駅
	東京都調布市多摩川2-28-4		
制作団体 設立年月	昭和47年 11月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役 取締役 監査役	平塚 仁郎 村田 里絵 平塚 奈々 川口 勝也 平塚 キク	制作部 7名 文芸演出部 3名 俳優部 31名(他に研究生) 加入条件:18歳・高卒以上 (制作は面接、俳優はオーディションで選考)
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業担当者名	村田 里絵
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	伊澤 智子

<p>制作団体沿革</p>	<p>昭和47年に(株)総合プロモーションを設立後、舞台やTV番組の制作を始め、広いジャンルでの活動をしつつ、「面白く確かなテーマで」を創造理念として劇団を創設。以来「児童青少年の為だからこそ最高の演劇を」と、総合芸術である舞台劇の魅力を最大限伝えるべく全国で公演を続けています。平成3年、(株)劇団芸優座と改称し、平成10年より事務所・稽古場を現在地に構えています。劇団として、常に高い専門性を維持するために、新人から中堅・ベテランに至るまで、発声・ダンス・日舞等、専門家の指導の下での基礎訓練を重ねると同時に、児童青少年から大人一般まで、それぞれを対象とする様々な作品の自主公演実施など、日常的な鍛錬を日々欠かしません。</p> <p>(公社)日本児童青少年演劇協会・(公社)日本劇団協議会・児演協等 加盟</p>					
<p>学校等における公演実績</p>	<p>令和4年度上演中の小学生向けレパートリーは7作品。「天狗山のトロップ」は昭和47年の初演以来、既に2000ステージを超え、「パパはマジシャン」は平成18年度「本物の舞台芸術体験事業」で採択されました。令和元～4年「文化芸術による子供育成総合(推進)事業～巡回公演事業」で採択された「一休さん」のほか、「グリムのハンスと大悪魔」「秘密のロビンの大冒険」「角～いじめっ子姫の物語」は好評を頂き続演中。自由な構成と新たな手法で注目された「絵本の扉～新美南吉編」や「ママの思い出」も公演数を伸ばしています。</p> <p>令和3・4年度12作品の実績は全国で、コロナ禍にありながら、合同公演も含め、高校62回、中学校14回、小学校53回、教育委員会主催公演・公文協など22回。</p> <p>(別添1参照)</p>					
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>新型コロナ感染症の感染拡大の影響もあり、この作品における直近の公演実績はありません。ただし、過去の実績として、それぞれ各校の実情に合わせ、工夫をこらしながら、公演を成功させてきました。</p>					
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>				
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://drive.google.com/file/d/1PJR8-NcZbyjd76B1OWr7BD1UNoafdz40/view?usp=sharing</p>				
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="948 1785 1015 1825">ID:</td> <td data-bbox="1015 1785 1444 1825">なし</td> </tr> <tr> <td data-bbox="948 1825 1015 1863">PW:</td> <td data-bbox="1015 1825 1444 1863">なし</td> </tr> </table>	ID:	なし	PW:	なし
ID:	なし					
PW:	なし					

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団芸優座 】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	おしばいって、おもしろい！		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>『^{いっ きゅう}一休さん』 (途中休憩10分あり)</p> <p>脚本 平塚仁郎 演出 村田里絵 公演時間90分</p> <p>第一幕 この橋わたるべからず 一休さんたちが繰り広げる爆笑的一幕</p> <p>第二幕 「言わずに書いた」とはなんのこ？ 村の大問題に巻き込まれた一休さん、さあ、どうする？</p> <p>第三幕 なぞなぞあそび 村の子供たちと一休さんや小僧たちの「なぞなぞ大会」</p> <p>第四幕 母上に会いたい・・・ はらはらドキドキ、感動の再会と別れの物語</p>		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況
演目概要	<p>ご存じ、とんちの一休さん！</p> <p>まずは面白く！ おおらかな笑いと、美しい舞台にご注目ください！</p> <p>初めて舞台劇を観る方に も最適です。</p> <p>それぞれの年齢層にふさわしいテーマがあります！</p> <p>✪目標をみつけよう ✪ユーモアって大切だ ✪人はみな平等 ✪親の愛は無償の愛・・・</p> <p>観劇後、みんなでたくさんお話ができます！ (別添2参照)</p>		
演目選択理由	<p>公演の目的に合わせて・・・生徒さんの創造力・想像力を培い、コミュニケーション能力の向上と同時に、「演劇の楽しさ」を知ってもらい、将来の演劇観客人口の育成を図ることを目的とした作品を選定。</p> <p>事業効果の向上を図るために・・・生徒さんと共に、保護者や地域の皆さん方も楽しめる作品を選定。</p> <p>第三者の評価から・・・ 公益社団法人日本児童青少年演劇協会主催「児童青少年演劇地方巡回公演」でも特に芸術的にも教育的にも効果が高いとの評価を得た作品を選定。 (別添3参照)</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>俳優として共演・・・ 村の子供たちとして9名が2場面に登場します。衣装もメイクも本格的。エキストラにさせません。俳優以外でも歌(「夕焼けの歌」)での参加もできます。</p> <p>全員参加！・・・ 幕開き、呼びかけのセリフと歌(「お掃除の歌」)は全員参加です(ジェスチャーや手拍子でも可！)。</p> <p>スタッフとして参加・・・ 場内アナウンスや裏方のお手伝い(数名)。チャンスは「俳優さん」だけではありません！</p> <p>その他の体験(バックステージツアーや交流会)・・・ お別れのその時まで！ (別添4参照)</p>		
出演者	<p>西田康義 山田悦子 百瀬 豊 小泉みち 田中強悟 高木健太 丸橋真樹 松本和也 高杉佳美 川崎綾香 貞方友香里</p>		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 ます	<p>出演者: 11 名</p> <p>スタッフ: 3 名</p> <p>合計: 14 名</p>	運搬	<p>積載量: バン 3 t</p> <p>車 長: 4.99 m 6.09 m</p> <p>台 数: 2台 1 台</p>

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去
	8時	8～11時(共演生徒さんのリハーサル11～12時)		13～14時20分	10分	15～16時30分
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。						
本公演 実施可能日数目安 <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月	7月	8月	9月	10月	
	22日	20日	18日	20日	21日	
	11月	12月	1月	計	152日	
	20日	16日	15日			
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						
児童・生徒の 参加可能人数	本公演		共演人数目安		7～20名程度(第一部は全校対象)	
			鑑賞人数目安		50～1000名程度	
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出や がわかる写真) ※採択決定後、採 択団体へ図面等詳 細の提出をお願い します。	第一幕 「この橋わたるべからず」 (お寺の大広間)					
	第二幕 「言わずに書いた」とは なんのこと？ (お寺の門前)					
	第三幕 なぞなぞあそび					
	第四幕 母上に会いたい・・・					
	体育館での仕込み例(お寺の大広間)		 生徒さん出演中！			
		 共演生徒さん用衣装				

【公演団体名 劇団芸優座】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	第一部:全校生徒 第二部:6~20名程度
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>実施形態について</p> <p>第一部(45分)・・・全校のみなさん対象(体育館)</p> <p>事前鑑賞指導・実技の体験</p> <p>第二部(6~90分)・・・共演生徒さん対象(体育館・大教室・レクリエーションルームなど)</p> <p>出演のための演技指導</p> <p>実施内容について</p> <p>●鑑賞指導</p> <p>プロジェクターでの美しい映像を見ながら、作品の粗筋やテーマ・時代背景、一休禅師の生涯についてなど、簡潔に説明します。さらに、「生」の舞台芸術を鑑賞するためのポイントについてもわかりやすくお話しします。所要時間は15分程度です。</p> <p>●実技指導</p> <p>第一部では、30分程、俳優たちが日々実践している発声・発音の練習、呼吸法や準備運動等を紹介し、実際に一緒にやってみます。その後、全員参加の場面のお稽古としてセリフのきっかけを覚えたり、歌の練習をします。</p> <p>第二部では、共演する生徒さんのみを対象に、2~30分ほどウォーミングアップとして、簡単なインプロゲームをいくつか体験します。その後、「出演シーン」をプロジェクターで紹介し、イメージが湧いたところで、共演内容ごとに分かれて、お芝居など本公演ためのお稽古をします。</p> <p style="text-align: right;">(別添5参照)</p>		
ワークショップの ねらい	<p>ねらい</p> <p>①児童・生徒の想像力・創造力を培う</p> <p>②児童・生徒のコミュニケーション能力の育成を図る</p> <p>③演劇の楽しさを知り、将来の演劇の観客人口の育成を図る</p> <p>◎事前の鑑賞指導 作品の背景等を知ること、積極的で深い鑑賞が可能となり、より楽しめます。</p> <p>◎一緒に動いてみよう! 体験・共演を通じて、舞台芸術が身近になると思います。同時に、短時間に協力関係を築き、共に何かを創るという経験はコミュニケーション能力の向上に繋がります。</p> <p style="text-align: right;">(別添6参照)</p>		
その他ワークショップに 関する特記事項等	<p>学校のニーズに対応!</p> <p>演劇的アプローチにより、文化祭・演劇発表会のみならず、授業での発表や朗読など、様々な学校の日常のシーンにおいて「効果」を上げるための方法が体験できます。具体的には発声法その他、注意の集中、リラックスして実力が発揮できるようにするための練習などなど・・・</p> <p>事前の打ち合わせで学校のご希望をうかがい、プログラムを作っていきます。</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名

劇団芸優座

】

①本事業に対する取り組み姿勢

人生を豊かにし、生きていく支えともなる芸術、ことに演劇と、すべての子供たちに出会って頂きたい。それは、彼らの**芸術鑑賞能力の向上と、発想力・想像力をも育む**と信じます。劇団創設以来50年、学校演劇教室・芸術鑑賞教室に携わり、作品を創り続けてきた私共の信念、経験・実績はこの事業に大いに生かせるものと確信しております。

その事業の目玉ともいべきワークショップと共演は、**共に創ること、実現させることの充実感や楽しさ、喜び**を感じることでできる貴重な経験となるでしょう。それは正に**次代の文化の担い手**、芸術を享受し支えていく者を育てることにもつながると信じます。

さらに、単に学校に劇団が来て公演をするということだけではなく、学校内で先生方以外の、**信念や夢を持ってその仕事に取り組む大人の姿**として、生徒さん方の将来へのメッセージになるのではないのでしょうか。

非常に忙しい学校現場で、**演劇教室**の意義や必要性をより一層ご理解頂ける絶好の機会としても、私共の創りうる最高の舞台をご覧いれなくてはならないと思っております。

この事業を通してもたらされる「ふれあい」「発見」「協調」、そして「創造」…それらは、学校生活のほんの一頁を飾るにすぎない、学校行事の一つかもしれません。でも、特別な輝きを持つものとして生徒さんたちの心に残したい…その為に、特にワークショップの内容は、**各学校の現状に則した効果的なもの**になるよう努めます。

(別添7参照)

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

●**なにより事前の打ち合わせを大切にします**

生徒さん方に満足して頂ける、**その学校らしい体験・鑑賞にしたい**…そのために最も重要なことは、**学校それぞれの独自性や豊かな多様性**を、私共がいち早く知り、少しでも理解することだと考えています。そのために、担当の先生方との事前の打ち合わせを、何度でも丁寧に行います。何をを目指すか、どんな効果を目指にするか、先生方と沢山お話をさせて頂き、「学校」と劇団が共に創る、その過程を大切にします。

◎**ワークショップについて**

その時間を安心してお任せ頂けるよう、先生方に具体的に説明いたします。その上で、ご希望をうかがい、学校の状況に応じた**オリジナリティーのある形の実現**を目指します。

◎**継続的なサポート**

ワークショップから本番までの間、**共演内容**についての打ち合わせや確認、当日を楽しみにお待ち頂くための**公演の「宣伝」**のご協力など、連絡を途絶えさせないようにします。

◎**公演について**

これまで50年にわたり体育館で公演し続けてきたそのノウハウには自信がありますが、さらに最大の効果が上がるよう、**舞台監督等が下見をさせて頂いた上で入念に計画を練ります**。

また、安全や換気について配慮し、私共の行動経路の限定、生徒さん方の入退場や座席の位置について綿密にご相談いたします。

(別添8参照)

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫

B区分で事業を
実施するに当たっての工
夫や実施体制

i) B区分に申請する理由

A区分では過去数回ご採択頂きましたが、ただ観るだけで終わらない、この事業の価値や有用性は、体験してこそ実感して頂けるものだと思感じてまいりました。まずはその現場を、自分の団体の公演を利用して、他校の先生方や教育委員会のご担当者に見て頂き、この事業の意味や効果などをさらに広く伝え、毎年、申請する事が学校の「当たり前」となるよう、さらに力を尽くしたいと願い、B区分に申請を致しました。

また、実は令和2年、初めてB区分にご採択頂きましたが、まさにコロナ禍にあって、その活動は大変厳しく制限され、思うようにいかなかったところが多々ありました。この3年間、多方面にわたって学んだこと、経験したことを伝え、生かすと同時に、特に広報活動につきましては是非再挑戦させて頂きたく申請を致しました。

(別添9(1)参照)

ii) 複数年にわたり同じ地域で実施する上での工夫や、公演及びワークショップの質を向上させるための工夫

●まずはワークショップや公演を、多くの他校の先生方や教育委員会の方々に見学して頂きたいと思います。その際、ただ見るだけにとどまらないよう工夫すると同時に、ご参加の先生方のご感想などをうかがい、次年度に反映させたいと思います。

●実施校では、生徒の皆さんには感想文を、ご担当の先生にはご意見ご感想等々伺わせて頂き、そのお声を次年度に生かしたいと思います。

●ワークショップが、担当ブロックの傾向や各学校の状況をふまえ、ご要望にお応えできる内容になるよう綿密に学校と打ち合わせ・準備をし、時間をかけて協力体制を作っていきたいと思います。

●「校長会」でのアピールが単なる宣伝にとどまらず、担当ブロックの現状を踏まえた上で、出来る限り具体的にお話しさせて頂く工夫をしたいと思います。

(別添9(2)参照)

iii) B区分団体が行う業務) 具体的な実施体制

この事業の専任として村田里絵をおき、教育委員会や校長会への訪問・広報、インタビューや意見交換会など、本事業の向上の為に取組を行います。

リンク先	No.1	【公演団体名 株式会社 劇団芸優座 】																											
学校等における 公演実績	<p>作品ごとの、過去10年間の公演実績は以下の通り</p>																												
	<p>< 中学校・高校向け作品 ></p> <table data-bbox="730 618 1129 846"> <tr> <td>ベニスの商人</td> <td>829回</td> </tr> <tr> <td>アンクルトムの小屋の灯に</td> <td>141回</td> </tr> <tr> <td>最後の一葉</td> <td>211回</td> </tr> <tr> <td>チェーホフ先生こんにちは</td> <td>69回</td> </tr> <tr> <td>それぞれの絆</td> <td>20回</td> </tr> <tr> <td>昇らぬ朝日のあるものを</td> <td>46回</td> </tr> </table> <p>< 小学校向け作品 ></p> <table data-bbox="730 927 1129 1232"> <tr> <td>天狗山のトロッ平</td> <td>228回</td> </tr> <tr> <td>グリムのハンスと大悪魔</td> <td>244回</td> </tr> <tr> <td>パパはマジシャン</td> <td>151回</td> </tr> <tr> <td>秘密のロビンの大冒険</td> <td>185回</td> </tr> <tr> <td>一休さん</td> <td>371回</td> </tr> <tr> <td>角〜いじめっ子姫の物語</td> <td>354回</td> </tr> <tr> <td>絵本の扉</td> <td>34回</td> </tr> <tr> <td>ママの思い出</td> <td>10回</td> </tr> </table>		ベニスの商人	829回	アンクルトムの小屋の灯に	141回	最後の一葉	211回	チェーホフ先生こんにちは	69回	それぞれの絆	20回	昇らぬ朝日のあるものを	46回	天狗山のトロッ平	228回	グリムのハンスと大悪魔	244回	パパはマジシャン	151回	秘密のロビンの大冒険	185回	一休さん	371回	角〜いじめっ子姫の物語	354回	絵本の扉	34回	ママの思い出
ベニスの商人	829回																												
アンクルトムの小屋の灯に	141回																												
最後の一葉	211回																												
チェーホフ先生こんにちは	69回																												
それぞれの絆	20回																												
昇らぬ朝日のあるものを	46回																												
天狗山のトロッ平	228回																												
グリムのハンスと大悪魔	244回																												
パパはマジシャン	151回																												
秘密のロビンの大冒険	185回																												
一休さん	371回																												
角〜いじめっ子姫の物語	354回																												
絵本の扉	34回																												
ママの思い出	10回																												

リンク先	No.2	【公演団体名 株式会社 劇団芸優座 】
演目概要	<p>あらすじ</p> <p>第一幕 「この橋わたるべからず」 (お寺の大広間)</p> <p>一休という名の少年が、安国寺で修行にはげんでいました。明るくいたずら好きな一休さん、とんちにかけては將軍様の耳に届くほど評判で、お城によばれ、その「とんち」を披露したのですが、その時の様子を聞きに来た村の代官様たちが…</p> <p>みんな知ってる一休さんのとんち話がたくさん出てきます！</p> <p>第二幕 「言わずに書いた」とはなんのこと？ (お寺の門前)</p> <p>賢い一休さんのもとには、困った事があると村の人たちが相談にやってきます。お百姓のおよしさん、薬屋さんやお役所の陣内さんまで。今日も次々と難題が持ち込まれますが、はたして一休さんは、その難題を解決できるのでしょうか？</p> <p>第三幕 なぞなぞ遊び (里山の夕景)</p> <p>一休さんやお寺の小僧さんたちと村の子供たちが、ひととき、美しい里山で一緒に遊びます。なぞなぞに歌や踊りと大盛り上がり！(共演生徒さんたちが出演します)</p> <p>第四幕 母上に会いたい (お寺の大広間)</p> <p>深い事情があって、両親とは何年も離れて暮らしていた一休さんですが、ある日、母上が突然お寺へ訪ねて会いに来ました。でも実は、この二人には会ってはならない理由があったのです。しかもそこへ、村のお代官様たちが取り調べにやってきて…</p> <p>はらはらドキドキ、そして、感動の母と子、再会と別れの物語！</p> <p>テーマについて 明快で共感できるテーマがあります！</p> <p>☆目標をみつけよう！</p> <p>親と離れ、お寺という特殊な環境で厳しい修行に励んだ一休さん。どんなに辛く寂しくとも、常に前向きであろうとし、遂には、偉い人より尽くす人を目指すようになります。そして、大事なものは、目標を持つことそのものだとなります。</p> <p>☆「とんち」は争いを避けるための手段としてのユーモア</p> <p>一休さんは得意なとんちで、頭の固い大人をやっつけているように見えますが、それは無駄に争うことを避けるための手段でもありました。そんなユーモアに、今だからこそもう一度注目したいと思います。</p> <p>☆人はみな平等</p> <p>その子をそのまま受け入れ、厳しく優しく見守る和尚様が、事あるごとに教えているのは、「人はみな平等」ということ…それを、一休さんたちと共に心に刻みたいと思います。</p> <p>☆親の愛は無償の愛…</p> <p>共に過ごす時間が少なくとも、親の愛も子の愛も、しっかり繋がることができる…そんなことを再確認しつつ、離れて暮らさなくてはならなかった一休親子の、生涯で一度だけの再会となってしまったその場に立ち合ってください。</p>	

リンク先	No.2	【公演団体名 株式会社 劇団芸優座 】
演目選択理由	<p><公演の目的に合わせての作品選定></p> <p>公演やワークショップを通じて、児童・生徒のみなさんの創造力・想像力を培い、コミュニケーションを能力の育成を図ることが何より重要です。また、児童・生徒のみなさんに「演劇の楽しさ」を知ってもらうことで、将来の演劇観客人口の育成を図ることを配慮します。以上の目的に合致した作品を選定しました。</p> <p>○ この作品は、演劇としての「観る楽しさ」と共に、たとえば実在した一休さんという人物について、その時代について、あるいは、この作品では取り上げられなかった「とんち話」を調べたりなど、様々な方向に広げ、深めていく事が期待できます。 また、ワークショップでは、この体験が、文化祭や発表などだけでなく、日常の学校生活などでも、具体的に役立てて頂けるような取り組みもします。</p> <p>○ 対象を「小学生低学年から中学生」としていますが、それぞれの年齢層に響く深いテーマがあることと、芝居に見応えがあり小学校1年生から大人まで、しっかり楽しく鑑賞して頂いている実績があります。</p> <p><事業効果の向上を図るために></p> <p>幕が開くと、そこには、かつて日本中どこにでもあった里山の美しい風景が広がり、一休さんたちや村の人々のように、絆を大切に、たとえ貧しくとも心豊かに、日々を丁寧に生きていた、そんな忘れかけた日本人の姿があります。大人にとっては懐かしい、でも、子どもたちには新鮮な「発見」かもしれません。日本の自然や文化をあらためて見つめ直すきっかけになったら…子供から大人まで、観劇した人みんなで、深く考えたり、語りあえる作品です。</p> <p><第三者の評価から></p> <p>公益社団法人日本児童青少年演劇協会主催「児童青少年演劇地方巡回公演」でも、芸優座の作品はいずれも高い評価を得ています。令和5年度は、小学生向け7作品のなかでも、特に芸術的にも教育的にも効果が高いと言われる作品を選定しました。また、この作品は、厚生労働省社会保障審議会の推薦を得ています。</p> <p>○ 初演以来、全国の小学校や鑑賞会等、多くの方々をご覧下り、ご好評を頂いています。「体育館を劇場に」と、あくまでもオーソドックスであることに拘った美しい舞台、明確なテーマとテンポの良い分かりやすいストーリーは、初めて舞台劇を観る方にも、その魅力をしっかり感じて頂けるものと信じます。また平易で分かりやすいセリフとコミカルな動きで、低学年の生徒さんも十分楽しめます。</p>	

リンク先	No.2	【公演団体名 株式会社 劇団芸優座 】
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>「共演」「参加」「体験」の具体的なプランについて</p> <p>俳優として共演</p> <p>生徒さん(先生でも可)5～9名程のご出演を想定していますが、希望人数によってアレンジは可能ですのでご相談ください。勿論、学年・男女・経験は問いません。</p> <p>基本の出演シーンは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第二幕「お寺の門前」 …… けがをしているおよしさんを助けながら、村で起きている困り事を相談に来る「村の子供たち」として2～3名 ● 第三幕「里山の夕景」 …… 一休さんや小坊主たちと歌ったり踊ったり一緒に遊ぶ「里の子供たち」として3～6名 <p>さらにご希望があれば 同「夕焼けの歌」を歌う合唱隊として歌で出演も可</p> <p>簡単なセリフと動きを覚え、朗読や歌の練習をして頂きますが一番大事なことは「間違えない」ことではありません。</p> <p>役に扮する事を体験する中で、自分らしさを知り、それを表現する事の楽しさ、積極的にコミュニケーションを図り、互いを信頼することの大切さ、共に創り上げること、</p> <p>そして、演劇の面白さを実感して頂くことです。</p> <p>単なるエキストラではなく、あくまでも共演者として、出演して頂きます。</p> <p>衣装もメイクも本格的・・・終演後、扮装のまま記念撮影をします。</p> <p>(共演する生徒さん方も、しっかり鑑賞できるよう工夫しています)</p>	 <p>(夕焼け合唱隊)</p>  <p>全員で体験</p> <p>呼びかけと歌で誰もが参加できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●幕開きで、他の小坊主たちと声を合わせて一休さんと呼んでください。 ●小坊主たちが歌う「おそうじの歌」を全員で合唱します。 (事前に楽譜とCDをお送りしますので、できればワークショップの後、本番まで、ぜひ繰り返し練習をして下さい。) <p>スタッフとして参加</p> <p>劇中の演出効果を高めるための手伝いや、開演前や幕間のアナウンス、小道具や衣装の確認など舞台監督助手としてなど、舞台の裏方の仕事も1～4名体験できます。</p> <p>舞台芸術は俳優だけでは完成しないのだということ、力を合わせて一つのものを創り上げる喜びを是非とも感じて頂きたいと思います。</p> <p>(アナウンス中)</p>  <p>終演後の体験として</p> <p>舞台を一層身近に感じてもらえるよう、上演後のバックステージツアーや、俳優達との交流会などが実施可能です。</p> <p>また、条件次第では「ばらし作業」の見学やお手伝いもできます。</p> <p>「劇場」が、いつもの体育館へと戻っていく様子を目の当たりにするのも、楽しい経験だと思います。</p>

リンク先	No.3	【公演団体名	株式会社 劇団芸優座 】
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p><当劇団のワークショップの目的></p> <p>①児童・生徒の想像力・創造力を培う ②児童・生徒のコミュニケーション能力の育成を図る ③将来の演劇観客人口の育成を図るため「演劇の楽しさ」を知ってもらう</p> <p><ワークショップの具体的なプラン></p> <p>①鑑賞指導… 全校生徒の皆さんを対象に(20分程度) まず、作品の粗筋やテーマ・見所、舞台となる京都の当時の風景や時代背景、さらに一休禅師の生涯について等々、プロジェクターで美しい映像を見ながら簡潔に説明します。その結果、本番を心待ちにして頂けますし、当日の観劇体験がより豊かになると同時に、作品に対して深い理解と感動が得られます。</p>  <p>②実技指導…</p> <p>1)全校生徒の皆さんを対象に(25分程度) 俳優が日々続けている発声・発音の練習、呼吸法や準備運動等と一緒にやってみます。この時、劇団員が生徒さんたちの間に入っていきますので、すぐそばで舞台の声を聞きながら体験できます。さらにご希望があれば、生徒さんの日常生活に役立つ演劇訓練として、人前で上がらずに発表したり、自分らしいパフォーマンスができるようになるための「リラククス法」「集中」の訓練を紹介します。 続いて、全員参加シーンのお稽古ですが、まずどんな場面なのか、具体的に説明をし、せりふの「きっかけ」を覚え、歌のお稽古をします。</p> <p>2)共演する生徒さんを対象に(30分)  それぞれの「出演シーン」のお稽古の前に、ウォーミングアップとして、コミュニケーションをとる事の大切さ、体一杯で表現することの面白さ等を経験して頂くことを最大の目標として、簡単なインプロゲームを楽しみます。「ミラーゲーム」「わたし・あなたゲーム」「震源地ゲーム」等、先生とご相談の上、各校の状況に応じていくつかのプログラムを選び、目的をはっきりもって、意識的に動いて頂けるよう工夫しています。 続いて、身近なシチュエーションを用いて、誰にでもできるシンプルで簡単なエチュードなど、演技するための具体的な訓練を体験します。</p> <p>③共演の練習…(60～90分) いよいよ最後に、「出演シーン」ごとに分かれ、お芝居のお稽古をします。事前に出演台本・楽譜・公演のDVD等お送りすることも可能ですが、特に予習をして頂く必要はありません。まず、本番のDVDを観ながら、各役のおかれている状況を説明した後それぞれのセリフや動きを覚えたり、生徒さん方ご自身のアイディアを大切にしながら、その役について研究します。ここまでで既に劇団員とも連帯感が生まれ、リラックスしたムードでお稽古は進みます。本番前の緊張も良い経験ですが、あくまでも楽しい体験となるよう、生徒さん方が自信をもって当日を迎えられるよう配慮します。最後に、衣装合わせと打ち合わせ(メイクは当日のみ)をして終了です。(当日もリハーサルがあります)</p>  <p>☆「スタッフ」をご希望の生徒さん方も、②までは一緒に参加して頂きますが、その後は「俳優」陣とは分かれて練習します。まず、舞台、大道具、効果についての説明を受けた後、役割分担をし、最後に場内アナウンスの練習もします。</p>		

リンク先	No.3	【公演団体名 株式会社 劇団芸優座 】
<p>ワークショップ のねらい</p>	<p>◎事前の鑑賞指導について</p> <p>観劇前に作品の背景を知ること、本番当日、積極的で深い鑑賞が可能となり、より楽しめます。また、そもそも舞台芸術が「観客」と共に創造していくものであるという事を、この事業を通じて「体験」して頂きたいと願い、「生の舞台芸術」を鑑賞するポイントについても簡単に、わかりやすくお話をさせて頂いています。</p> <p>何よりも、楽しかったというその体験こそが、将来の良き「観客」を、そして「担い手」を生み育むと考え、ワークショップの段階から、豊かな時間となるよう工夫します。</p> <p>◎学校のニーズに対応します！</p> <p>第一部の全校向けの演劇体験では、ご希望によって、発表会・文化祭、あるいは教室で、まさに今、学校で必要とされていることについて、出来るだけ具体的にアドバイスや指導をさせて頂くことも可能です。これまで、効果的な発声練習や舞台であがらない方法、集中の仕方、あるいは演出する上での工夫などについて、お話をさせて頂いたり体験して頂いたりしました。</p> <p>さらには、朗読や発言・発表などで効果を上げる手法の体験も可能です。</p> <p>◎とにかく、一緒に動いてみよう！</p> <p>共演を通じて、舞台芸術が身近になり、さらに深く興味を持って頂きたいと願っています。そして、覚えた事を「正しく」やるのが目的ではなく、自ら心身共に解放、自分を表現する事の喜びや、他人と協力しながら何かを創り上げる事の喜びを経験して頂きたいと思います。</p> <p>また、その為に必要な信頼関係を、いかに短い時間で築くか…それには、まず、一緒に動くことから始めるのですが、その経験こそ、コミュニケーション能力の向上につながると思います。</p>	

リンク先	No.4	【公演団体名 株式会社 劇団芸優座 】
本事業への 申請理由	<p>① 事業に対する取り組み姿勢</p> <p>いわゆる芸術が、生きていく上での大切な支えになると同時に、人生を美しく豊かにする事は言うまでもありません。一人で生きる時も人と生きる時も、その為に必要な知恵や勇気や想像力は、演劇から得られると信じます。そんな演劇と、子供たちの日常である学校の時間の中で、しかも、身近な体育館という場で出会って頂きたい。そしてそれは、確実に子供たちの芸術鑑賞能力の向上につながり、さらには、発想力・想像力を育むと信じます。</p> <p>私共は劇団創設以来50年、学校演劇教室・芸術鑑賞教室に携わり、生徒・児童のための舞台・演劇作品を創り続けてきましたが、それゆえ、殊に体育館での上演には拘りを持って来ました。私共が持つ信念、経験・実績は、この事業のためにも生かせるものと確信しております。</p> <p>また、この事業の目玉ともいべきワークショップと共演ですが、事前交流と鑑賞指導は、非常に積極的で深い鑑賞につながり、さらに、同校の生徒さんや先生方が共演するということが、芸術そのものを身近にし、本番を益々楽しみなものにします。また、演劇とは何かを知ること、実技を体験することは、将来の俳優や舞台芸術にかかわる芸術家を生むきっかけとなり得、意味深いものですが、たとえ短い、部分的な場面であっても、共に創りあうこと、実現させることの充実感や楽しさ、喜びは大変貴重な経験になるでしょう。それはまさに次代の文化の担い手、芸術を享受し支えていく者を育てることもつながると信じます。ワークショップや共演の内容においても、その経験が子供たちのコミュニケーション能力の向上そのものにも資する様、常に反省と工夫をし、生きたものにするべく努力します。</p> <p>さらにこの取り組みは、単に学校に劇団が来て公演をするということだけではなく、大人の、プロの役者が、設営から上演・撤収までをお見せすることで、つまり、学校内で先生方以外の、信念や夢を持ってその仕事に取り組む大人の姿として、生徒さん方の将来へのなんらかのメッセージになるとも信じます。</p> <p>非常に忙しい学校の現場で、演劇教室の意義や重要性・必要性をご理解頂き、先生方と共に、それを創り上げることが、単独の劇団の努力だけでは益々難しくなっている昨今、この事業は、学校にあらためてそれを具体的に感じて頂ける絶好の機会になっています。そして、最大限そのチャンスを生かすためには、何よりもまず第一に、私共の創りうる最高の舞台をご覧いれなくてはならない、一期一会の出会いとの覚悟をもって日々最善を尽くさなくてはならないと思っております。</p> <p>この事業を通してもたらされる「ふれあい」「発見」「協調」、そして「創造」・・・それらは、学校生活のほんの一頁を飾る、数ある学校行事の中の一つにすぎないかもしれませんが、でも、特別な輝きを持つものとして生徒さんたちの心に残したい・・・その為に、特にワークショップの内容は、各学校の現状に則した効果的なものになるよう努めます。</p> <p>また、今後、学校と共に、保護者・地域の方々をも巻き込んでいけるような「行事」になっていけば・・・その為に何が出来るか、そのことも常に考えてまいりたいと思います。</p> <p>この事業によって、ただ公演して終わりではない、そんな演劇教室の可能性が大きく広がったと同時に、生徒さん方に芸術との出会いの場を創る事は、私共にとっては使命であると同時に喜びでもあることを再認識させて頂きました。そのことに深く感謝すると共に、その一端に携わることが出来ればこの上も無い喜びです。</p>	

リンク先	No.4	【公演団体名 株式会社 劇団芸優座 】
本事業への 申請理由	<p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>なにより事前の打ち合わせを大切にします</p> <p>生徒さん方に満足して頂ける、その学校らしい体験・鑑賞にしたい・・・そのために最も重要なことは、学校それぞれの独自性や豊かな多様性を、私共がいち早く知り、少しでも理解することだと考えています。</p> <p>そこで、ワークショップや公演について、担当の先生方との事前の打ち合わせを、何度でも丁寧に行います。何を指すか、どんな効果を目指にするか、先生方と沢山お話をさせて頂き、「学校」と劇団が共に創る、その過程を大事にします。</p> <p>★まず文書で、ワークショップと本番の公演の内容、学校側にご準備頂く事や会場条件などを、出来るだけ具体的にお知らせします。</p> <p>★その後、電話・メール等で疑問点や必要事項をうかがい、それを基に、ワークショップの実施前に、直接お目にかかって打ち合わせをします。</p> <p>◎ワークショップについて</p> <p>その時間を安心して劇団の担当者・指導員にお任せ頂けるよう、先生方にはできるだけ具体的に説明させて頂きます。その上で、ご希望をうかがい、それぞれ学校の状況に応じた、各校オリジナリティーのある形で実現できるよう努めます。</p> <p>◎継続的なサポート</p> <p>ワークショップから本番までのおよそ一か月間は、先生方のご協力とご指導等をお願いする部分が多くなりますが、引き続き、共演者のお稽古についての打ち合わせや確認をしたり、生徒さん方に当日を楽しみにお待ち頂ける様、公演の「宣伝」のための材料やノウハウのご提供をしたり、連絡を途絶えさせないようにします。</p> <p>◎公演について</p> <p>これまでおよそ50年、体育館で公演し続け、蓄積されたノウハウには自信があります。さらに、各々の体育館の条件の許す限り、最大の効果が上がるよう、舞台監督等が下見をさせて頂いた上で入念に計画を練ります。</p> <p>また、安全や換気について配慮しながら、生徒さん方の入退場や、座席の位置についてご相談すること、私共の行動経路を確定することは、現在、体育館公演では必須のことと考えています。</p>	

リンク先	No.5	【公演団体名	劇団芸優座 】
<p>B区分で事業を実施するに当たっての工夫や実施体制</p>	<p>i) B区分に申請する理由</p> <p>A区分で過去数回ご採択頂き、多くの学校で公演させて頂いてまいりましたが、ただ観るだけで終わらない、この事業の価値や有用性は、体験してこそ実感して頂けるものと、ますます痛感しております。「共演」を前提とした時のワークショップの有効性、事前交流・鑑賞指導により、積極的で深い「鑑賞」へつながる事実、それらを目の当たりにするたびに、その現場を、他校の先生方や教育委員会のご担当者にもっともっと実際に見て頂きたい、それは、多くの言葉を尽くして説明することをしのぐのではないかと思います。</p> <p>学校ご主催の演劇鑑賞教室が激減する中、学校における「舞台芸術」のありようを、これ以上弱いものにしてはならないと思うわけですが、まさにこの事業は、その最後の砦となりうるのではないかと思います。そのためには、自分の団体の公演を利用して、この事業の意味や効果などをさらに広く伝え、毎年、申請する事が学校の「当たり前」となるよう、さらに力を尽くしたいと願い、B区分に申請を致しました。</p> <p>実は令和2年、初めてB区分にご採択頂きましたが、想像だにしえなかった新型コロナウイルス感染症の感染拡大に見舞われたこの3年間、その責任を果しえたかということ、特に広報の活動につきましては、残念ながら決して十分なものではなかったと言わざるをえません。厳しい状況にある中でも数十人のご担当者にお目にからせて頂いたものの、東京からの訪問に抵抗感のおありになる地域も多く、ご担当者との関係もお話も、電話だけでは思うように深まらない、あるいは発展しないということもあり、それは大変歯がゆく、申し訳なく思っております。一方、ワークショップと公演だけは、待っていて下さるに違いない生徒さんたちのためになんとしても実施したいと、刻々と変化していく状況の中で、担当の先生方とたびごとに何度も打ち合わせ、まさに手を取り合いながら、そして様々な方法・手段を探りながら、多くの学校で実現させて頂きましたことは、大きな喜びと共に感謝しかありません。と同時に、例えばリモートの実効性や効果と共に、生で「みる」「きく」ことの価値とその素晴らしさを再認識することができ、技術面のみならず、多方面にわたり、本当に多くのことを学ぶ機会ともなりました。</p> <p>再びB区分にご採択頂く機会があれば、まずは、思い描いていたような広報活動にいそしみ、努め、さらにはこのコロナ禍の3年間の貴重な経験を伝え、今後に生かすことをさせて頂きたいと願っております。</p>		

リンク先	No.5	【公演団体名 劇団芸優座】
B区分で事業を実施するに当たっての工夫や実施体制	<p>ii) 複数年にわたり同じ地域で実施する上での工夫や、公演及びワークショップの質を向上させるための工夫</p> <p>◆この事業がまさに、実際にご経験になられた学校の先生方が、いわゆる「クチコミ」で広げてくださっている現実を目の当たりにしました。いずれの芸術団体も真摯に全力で日々のステージに取り組み、その結果、多くの先生方が「やって良かった」と感じて下さっている証であると思います。そんな事業をますます充実・拡大させていくには、リピーター校のみならず、ますます新規の申請校を増やしていく必要性を実感しております。その手段として、まずはワークショップや公演を、できるだけ多くの他校の先生方や教育委員会の方々に見学して頂き、実際の様子を具体的に知って頂くことが大変有効であると思います。その際たとえば、ワークショップも実施前にその目的や実際に何をするのかなど、具体的に説明をするところから始め、疑問点・不安点などにきちんとお答えしながら、ただ見るだけにとどまらないよう工夫し、先生方とのお付き合いを継続します。</p> <p>また、当然このやりとりを含め、ご参加になられた先生方のご意見・ご感想は私共自身のワークショップ・公演に反映させてまいります。</p> <p>◆実施校でも、「公演で終わり」ではなく、生徒の皆さんに感想文を書いて頂き、資料として活用させて頂きたい、さらに、ご担当の先生にお時間を頂き、ご意見ご感想等々、伺わせて頂き、そのお声を次年度に生かしたいと思います。</p> <p>◆ワークショップの第一の目的が、コミュニケーションや自己表現の力をつけることにありますので、各学校の状況をふまえ、ご要望にお応えできる内容にしたいと思います。そのためには綿密な学校との打ち合わせ・準備が必要ですが、複数年担当させて頂ければ、そのブロックのご様子なども理解できるため、よりきめ細やかな協力体制を作ることができると思います。</p> <p>◆広報の有効な手段として「校長会」でのアピールがありますが、複数年実施することで担当ブロックの現状を学ぶことが可能となりますので、それを踏まえた上で、単なる宣伝にとどまらず、事業内容や手続きについて、出来る限り具体的にお話しさせて頂き、次年度の申請に繋がるよう努めたいと思います。</p> <p>◆担当ブロックの地域的な特色や様々なご事情についてしっかり調査・理解し、次年度からは、同ブロックの他団体様にもその情報が共有できるようにし、プログラムの円滑な実施に向け、微力ながらお手伝いさせて頂きたいと思います。</p> <p>また、初年に関しては、前任としっかり引継ぎをし、取り組みが途切れないうよう、</p>	<p>iii) B区分団体が行う業務) 具体的な実施体制</p> <p>この事業の専任として村田里絵をおき、教育委員会や校長会への訪問・広報、インタビューや意見交換会など、本事業の向上の為の取組を行います。</p>

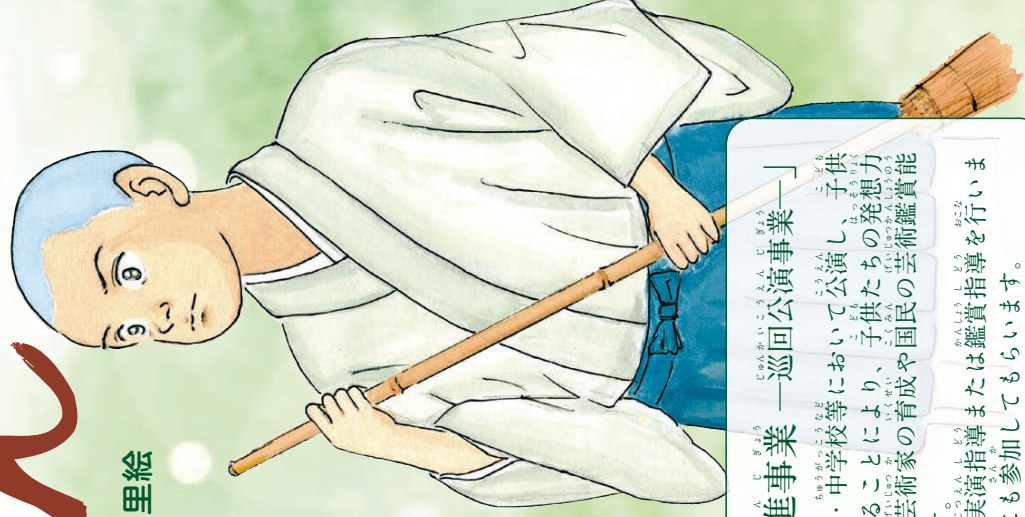
劇団芸優座は、「青少年にだからこそ最高の演劇を見せたい」という理念のもと、1972年に創立されて以来、全国のホール・会館をはじめ、文化庁の助成公演、公文協自主事業、教育委員会、小・中・高校の芸術鑑賞教室等での公演を、「演劇は、まず面白く、確かなテーマで観客と共に創造する」をモットーに、精力的に活動してきました。18歳から85歳まで各世代にわたる劇団員・研究者およそ60名が共に日夜研鑽に励み、今年も12作品のレパートリーを展開しています。



いっ きゆう 一体さん

脚本／平塚 仁郎 演出／村田 里絵

劇団 芸優座 公演



知ってますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～
1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

「文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—」
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導または鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



文 化 座

